

# 熊谷市主要駅周辺帰宅困難者対策協議会の概要・取組状況等

## 1 概要

- ◆ 活動エリア：熊谷駅、籠原駅周辺
- ◆ 会長：JR熊谷駅駅長
- ◆ 会員数：16人(+その他オブザーバー4団体)

駅	事業者	行政	その他
3人	4人	7人	2人

- ◆ 乗降客数 45,560人/日(令和5年度)
- ◆ 地域の特徴  
上越・北陸新幹線及び高崎線、秩父鉄道本線が通っており、埼玉県北部の交通の要衝となっている。  
鉄道駅周辺への人口集積が見られ、中心市街地で自転車利用環境の整備も進んでいる。
- ◆ 誘導マニュアル等の策定の有無  
熊谷市帰宅困難者対応マニュアル

## 2 今年度の活動内容

- ◆ 会議の開催回数：年間1回
- ◆ 備蓄状況  
令和2年度に駅周辺の宿泊施設における一時滞在施設利用に関する協定を締結し、駅周辺6ホテルに保存用ビスケット、500ml保存水、LEDランタン、携帯電話充電セットを備蓄。また、今年度より、熊谷文化創造館(さくらめいと)にも同様に備蓄した。
- ◆ その他の活動  
令和8年2月に、現地確認・図上訓練を実施した。

## 3 今年度の訓練内容

- ◆ 訓練実施日：令和8年2月
- ◆ 実施場所：JR熊谷駅、秩父鉄道熊谷駅、JR籠原駅、各構成員の所在地
- ◆ 参加者：協議会構成員の所属する機関の職員
- ◆ 訓練項目・概要  
協議会各構成員の役割分担に基づく対応確認
  - ①  
【JR熊谷駅、秩父鉄道熊谷駅、JR籠原駅、熊谷市】  
現地確認訓練を実施  
(例：案内所の設置場所の確認、資機材の確認、案内所の業務内容の確認等)。
  - ②  
【それ以外の構成員】  
図上訓練としてそれぞれ単独で実施  
(例：一時滞在施設の受付手順の確認、広報の方法の確認等)。

※①について、今年度は、埼玉県熊谷警察署及び埼玉県北部地域振興センターも参加した。